

## 達成状況評価書(平成24年度)

部局名:歯学研究科・歯学部

項 目	コメント
1. 教育 (大学の年度計画: 1~7)	<p>【年度計画の達成状況】 平成24年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成24年度は、歯科保存学、口腔治療学、歯科補綴学第一、歯科補綴学第二においてPBLを実施し、体験型教育を中心とした口腔総合医療学を新たに設置するとともに、大学院生の国際性を育むために、1年生の入学定員の5%程度を海外語学研修に参加させるという計画で指導を行った結果、目標を上回る成果を上げるなど、大学の年度計画の達成に貢献している。また、学部学生の海外派遣を平成25年度より「国際歯科学演習」(選択科目)とし、単位化することを決定するなど積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
2. 研究 (大学の年度計画: 8~10)	<p>【年度計画の達成状況】 平成24年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成24年度は、米国国立がんセンターとの共同研究で、ユビキチン調節因子ががん抑制機能を持つことをNature Medicine誌に発表し、また医学部との共同研究によるオートファゴソーム形成に関する論文をNature誌に発表するなど積極的に取り組み、大学の実績として評価できる。また、テニュアトラック制度の活用や研究倫理に関する講演会の実施など積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
3. その他 (大学の年度計画: 11~16)	<p>(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流</p> <p>【年度計画の達成状況】 平成24年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成24年度は、共同研究(7件)、受託研究(3件)、奨学寄附金(68件)の受け入れ、各種セミナーやシンポジウム、とくに市民フォーラム「健康長寿は口から」によって社会貢献活動を推進するなど、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 17~29)	<p>【年度計画の達成状況】 平成24年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成24年度は、大学院の専攻を「統合機能口腔科学専攻」と「分子病態口腔科学専攻」の二専攻から「口腔科学専攻」の一専攻に改編するなど積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
5. 全体の項目に関する達成状況	<p>【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。</p> <p>【特記事項】 平成24年度は、教育の国際化や専攻の改編など、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>